

袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

【 更生園 】

1 改善状況で評価できる点

- (1) 利用者の人権の権利擁護、虐待防止の取組
 - ・年度当初に比べ、利用者への声かけなどの対応が丁寧になったとの報告があった。
 - ・第2支援グループの振り返りチェックシートは、11月から他の支援員の良い部分を見つけ記載する前向きな項目が追加された。また、当該項目にチェックした際、自由記入欄にその様子等を記載している職員が多く見られた。
 - ・ヒヤリハット事例を周知徹底することにより、事故を未然に防げるようになっている。
- (2) 職員の資質向上と人材育成
 - ・研修の機会が増え、知識や専門性の向上に向け取り組んでいく意識が感じられるとの報告があった。
 - ・グループディスカッションは、情報共有の場だけでなく、悩みを話す機会ともなっており、職員のストレス軽減にもつながっている。
 - ・職員の他施設見学等の研修を積極的に行っており、他施設の取組みや状況を学ぶ良い機会となっている。
- (3) 家族等との関係
 - ・幹部職員が民間施設の家族会を見学に行き、保護者との関係構築に向けた取組みを進めている。今後、家族会と職員で民間施設を見学する方向で調整されている。
- (4) その他
 - ・利用者の実態を踏まえ、11月下旬にホール棟のネットの一部が撤去された。今後ネットの全面撤去が予定されており、施設の開放性の向上に向けた取組みが進められている。
 - ・苦情解決第三者委員の施設巡回時や、医療機関関係者から受けた指摘事項について、職員会議で周知するとともに、当該職員に指導するなど、適切な対応がなされている。

2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 利用者の立場に立った福祉サービスの提供
 - ・第1支援グループの振り返りチェックシートは、9月以降、一つひとつの項目が取りまとめられ、抽象的な内容になっていた。代わりに自由記入欄への記載をするなどして、自身を振り返る有効なツールとなるよう努めること。
- (2) 家族等との関係
 - ・家族会との連携の充実に向け、幹部職員を先頭に、前向きに取り組んでいる。今後も、保護者等との連携及び関係構築に向け、継続的に取り組むこと。
- (3) その他
 - ・ホール棟のネットを撤去し、施設の開放性の向上に取り組んでいる。今後も、継続的に取り組むこと。

3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- (1) 個別支援計画について
 - ・プロフィール、アセスメント、強度行動障害評価、個別支援計画等が揃っている班とそうでない班が見受けられた。各班で違いがあることについて、作成手順の統一や管理の方法等、原因を確認の上で必要な対応を図ること。
 - ・個別支援計画の目標設定には、保護者のニーズがそのまま記載されているものが多く見受けられた。利用者の支援について施設側の見解をもち、本人及び保護者のニーズをすり合わせた上で、合意した内容について記載し、計画に基づいて支援するよう努めること。
 - ・個別支援計画の内容は、施設内における生活のみならず、利用者の今後の生活を踏まえ、外部機関との連携の下、作成するよう努めること。
 - ・施設内職員又は外部人材の活用など、必要な改善に向けて、施設全体で取り組むこと。
- (2) その他
 - ・第1支援グループの寮において、「利用者支援に係る留意事項」を記載したポスターが、デイルーム側に向かって掲示されており、利用者の目に触れる状態にあった。支援員のみが確認できる場所に掲示するなど、必要な配慮をすること